

海外事情

援蔣ルートビルマ道路の建設



T & T

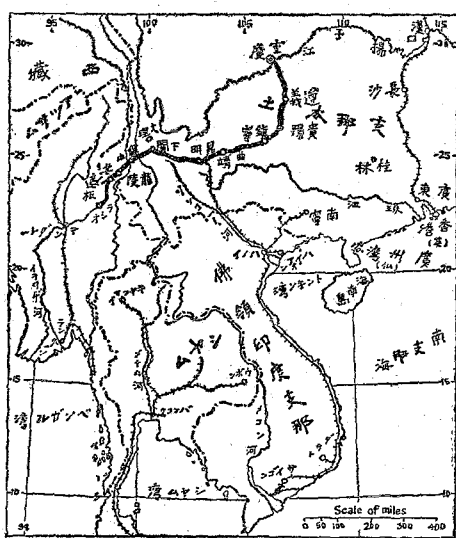
昨年十月に於ける廣東陥落は、支那が之に依て外國よりの軍需品輸入港としての最後の港を失なつたものと言ふべきである。今後支那は、日本海軍の監視を避けて福州、温州及汕頭の如き小港で陸揚げされる極く僅かな軍需品に頼るか、或は西北又は西南に於ける國境を越えて軍需品を取り寄せるかしなければならぬ羽目に立ち至つた。尤も汕頭は此の六月二十一日に日本軍に占守されてしまつたから、頼みの港は僅かに二港に過ぎない。勿論蔣介石は此の

事態を豫期して、對應策を講じてゐたのであつて、勇猛果敢なる日本軍が支那の表門戸を嚴重に封鎖してゐる爲に、蔣は裏門を開けて外國との連絡を保たんとする計畫を樹てゐた。それはソヴェート・ロシアの國境及ビルマに通ずる道路の建設である。

蔣が政府を重慶に遷した場合には、重慶は軍需品獲得の爲に次の三種の外國道路に通じてゐて而も其の道路延長も重慶から大體等しいと云ふことを念頭に置いてゐたことで

あらう。其の道路と謂ふのは、ソヴェート・ロシアのトルクシブ鐵道(Turk-Sibiraiway)、佛領印度支那の海防港及ビルマのラングーン港に通ずるものである。甘肅省の蘭州を経て更に新疆省の迪化を通過してロシアに達する道路所謂赤色援蔣ルート^{アハル}の建設は既に完成されてゐた。然しながら、總延長二千哩以上に及ぶ此のルートに於ける軍需品輸送はトラツクで行はなければならない。ところが此の道路は、荒涼たる地方を通過してゐるので、たとへ優秀道路が建設されてゐても、トラツクの運送能力は燃料供給に支配される關係上、極度の制限を受けることは云ふ迄もない。昆明及佛領印度支那を通過して海防港に達するルートは甚だ短距離で、而も其の半分は鐵道輸送に依ることが出来る状態である。然し、日本の佛蘭西に對す

る抗議に依つて軍需品の輸送が減少し始めたことは勿論で、歐羅巴情勢の影響を受けて、此の傾向は更に著しいものがあるであらう。



昆明、ラシオ及マングレイを通過して、ラングーンへ達するルートの中道路延長は約二千哩で、鐵道運輸の可能なのは僅か四分の一に過ぎない。

支那は一九三七年十二月、ビルマに通ずる道路の最後の最難工事に着手し現在では完成してゐる。之は、マルコ・ポーロが約六百年前支那を訪れた時に旅行した道である。此のルートに依つてどの程度迄軍需品問題の解決をなし得るかは、疑問である。然しながら、道路建設に當つて近代的の建設機械を全然使用せず、又殆んど人の住んでゐない山嶽地帯を通過してゐる道路を、勞

力のみ依て完成したことは一寸他に例を見ないと思ふ。

道路の一部分は、可成以前に建設されたものである。既に一九二五年國際支那飢饉救済委員會は、現在昆明と稱されてゐる雲南と貴陽との間のルートの實地踏査を行ひ、之の改良建設を行つた。其の後、貴陽と重慶との連絡路が竣工されたのである。下關（昆明・下關間の道路は二・三年前設計され不完全ながら建設されてゐる）よりビルマ國境に通ずる新規道路は日支事變の當初に着手されたのであつた。此の道路は、國境に於てビルマ當局が建設せる最近の改良道路に通じ、ラシオにて鐵道に連絡してゐる。而して此の鐵道はマンダレイを経てラングーン港に通じてゐるのである。

昆明からビルマ國境に通ずる道路の延長は、約六百五十哩であつて、此の道路の大部分は、實に羊腸として高山地帯を通過し、ビルマ國境近くに於てサルウィン河及メコン河を横ぎつてゐる。此の兩河は、海拔八千呎並に河床より四千乃至五千呎に達する山嶽の険しい谷間に源を發してゐ

る。之等の自然的障害を、全然機械を使用せずして征服したること、自轉車すら今迄通つたことのない地方であること等を憶ひ浮べるならば此の事業の完成は容易に信じ難いと言つてよい。之は、勞働の無限供給に依てのみ説明が出来るのであつて、此の事業には、男女及子供とも併せて十二萬餘の勞働者が従事したと言はれる。

大河に架けられた橋は、鋼索で吊られた木橋である。石橋は普通に小河に架設されてゐる。岩石を利用し得られる地方では、道路の基礎工事等に之が使用された。然しながら粘土質地帯を横斷せる道路もあつて、かゝる地帯では路面處理に粘土と砂礫の混合が用ひられた。かゝる道路は、轍を埋めて絶えず路面を平坦にする爲に使用出来る適當な勞働が存在すれば、尠くとも乾燥期には、可なりと言ふことが出来る。所が、道路の大部分は狹隘であるから、一方交通しか出来ない。従つてトラツクが通過するには一定時間の間隔を置くやう規則が設けられてゐる。

支那側運輸當局は、道路の利用を有效ならしめん爲、

大童の活動を續けてゐる。米國輸出入銀行 (American Export-Import Bank) が支那に與へた二千五百萬弗に上る貸附金の一部分は、トラツク及燃料の購入に充てられた。昨年十二月に三噸積クライスラーのトラツク及ゼネラル・モーターズのトラツク一千臺の注文が合衆國に發せられ、之等のトラツクは、ラングーン及海防^{ハイナム}へ船で輸送された。

而して支那は、ラングーン及海防の兩港に於てガソリンの陸揚げがされることを要求してゐる。海防からの輸送に於ては、支那はフランス鐵道を利用することが出來ると云ふ希望を勿論抱いてゐたのである。之は支那にとつて、非常に有利である。何故なら、其の場合、大量の軍需品はビルマから支那へ搬入され、燃料供給は歸路に於て昆明で補給することが出來るからである。トラツク以外に、荷物を背に載せて運搬する牛馬及牛馬車等が利用されてゐる。更に牛又は馬が牽く荷車に古自動車^{ベトナム}の車軸及車輪を利用せんとすることも行はれてゐる。ボール・ベアリング (ball bearing) を有するかゝる車は、一噸以上の荷物を運搬し、

二頭の牛又は馬で之を牽くことが出來る。診療所、トラツク修繕所及換へ牛又は馬の爲の舎屋が道路に沿ふて建設されてゐる。英國官憲は、此の道路輸送を、誠意を以て援助してゐるやうに思はれる。英國はビルマ側の道路 (延長百二十哩) を改良し、ラシオの停車場には、其處に堆積する貨物を保管する倉庫が建設されてゐる。

道路維持は、特に五月から始まつて十一月迄續く降雨期に於ては重大問題である。丘陵地方では、道路は山崩れに襲はれる。云ふ迄もなく、特に雨季に於ては劇しいことであらう。今後、ビルマ道路が支那へどれ丈の物資を供給し得るかを推定することは困難であるが、ビルマ道路の輸送組織は餘り信頼出來るものである筈はない。ラシオから昆明への往復には二週間を要するとのことであるから、之に據て考へるならば、若し百臺のトラツクが毎日各々三噸の積荷をして出發するとせば、一箇月間に總計約九千噸の貨物が輸送される理である。所で、之には千四百臺のトラツクを絶えず使用しなければならぬことになるのである。